



ドライマウス (口腔乾燥症)

近年、高齢化社会に伴う有病者数の増加、社会心理的ストレスの増加、不規則な食生活などにより、お口の乾燥(ドライマウス)を訴える患者さんが増えています(図1)。ドライマウスとは「粘膜の乾燥や保湿度の低下をきたしている病態」を示し、多くの患者がドライマウスにより、**食事摂取困難や味覚異常、口臭、お口の違和感、舌痛、えんげ(飲み込むこと)困難、会話困難、口腔カンジダの発症、虫歯の多発、歯周病の悪化**などの様々な症状を訴え、生活の質(QOL)の低下をきたしています。欧米では人口の約25%がドライマウスであり、日本では約3000万人の潜在患者がいるとされています。ここ数年で、患者さんや医療関係者の認知度が徐々に上がってきており、**当科でも受診患者は年々増加傾向を示しております。**

<唾液の働き>

お口の保湿に欠かせない唾液には様々な働きがあり、

- ① 歯や粘膜の保護
- ② 抗菌・抗ウイルス作用
- ③ 味覚の成立
- ④ そしゃく・えんげの促進

図1



などの働きがあり、この働きが低下するとお口や全身の機能や健康の障害を引き起こす可能性があります。

<ドライマウスの原因>

原因には、①薬剤の副作用 ②加齢 ③神経性 ④シェーグレン症候群(目やお口を中心に分泌されにくくなる病気) ⑤全身的要因 ⑥口呼吸 ⑦嗜好物などによる局所的要因があげられます。

薬剤では①降圧薬 ②利尿薬 ③抗ヒスタミン薬 ④抗うつ

6月4日は歯の衛生週間が始まる日ですが、歯だけでなくちょっとお口の中にも注目してみてもいかがでしょうか?今月はドライマウスについてお話ししましょう。

■唾液分泌体操■



■大唾液腺マッサージ■

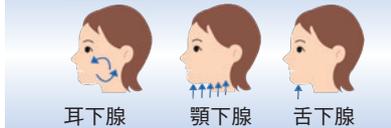


図2 社団法人 福井県歯科医師会健康教室の達人参照

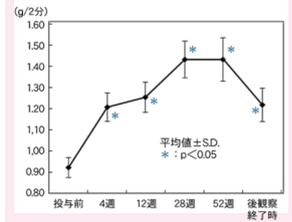


図3 塩酸セビメリンの長期投与と効果 (市川隆一他、診療と新薬(38):369-391, 2001より)

薬 ⑤抗不安薬 ⑥鎮痛薬などで副作用が報告されています。全身的な要因で代表的なものは糖尿病、腎疾患、貧血、高血圧症などがあげられます。

<ドライマウスとの付き合い方>

ドライマウスの基本的な治療は、

- ① 唾液腺マッサージや分泌体操(図2)
- ② 酸味のある食品や飲料摂取による唾液分泌促進
- ③ 早食いをさげよく噛む食事摂取
- ④ うがい薬や保湿剤による保湿
- ⑤ 唾液分泌促進薬の投与などがあります。

また、漢方や塩酸セビメリンというお薬の長期使用により改善したという報告(図3)もあり、**当科においても積極的に治療をしております。**

説明してきたように、お口の乾燥は私たちの生活に支障をきたし、上記に示した影響が起こり得ます。歯やお口の健康づくりと全身の健康増進をはかり心身ともに快適に過ごせるよう定期的な内科・歯科受診を心がけましょう。

(歯科・口腔外科 竹岡 高志)

医療安全管理室からのお知らせ 2

三重病院の各処置室には緊急時に使用する薬品や材料を入れる「緊急カート」が置かれています。(写真①)

当院では「緊急カート」から安全に薬を取り出すことが出来るように、薬の配置の見直し・改善を行っています。



②見た目もすっきり。安全に取り出せるようになった薬剤

中でも放射線科では早急に対策に取り組み、改善を行いました。(写真②) 各薬品が引きだしの開け閉めなどによって移動することのないよう、厚紙で仕切りを作り、見や



①放射線科の「救急カート」。緊急時の薬品や材料が入っています。



③手前味噌ですが…プチ表彰式の後、受賞者を囲んで

すく取り出しやすいよう底は斜面に作ってあります。ちょっと、写真ではわかりにくいかもしれませんがね。これで、どんなときでも、誰でも、すばやく確実に安全に薬品を取り出すことができます。そこで、担当の技師長に看護部と医療安全管理室から感謝状を送りプチ表彰を行いました。

これからも院内で協力して医療安全に取り組み、安全・安心な療養環境を促進したいと思っています。

(医療安全管理係長 高木 喜代美)